



小中学校へマスクを ライオンズクラブが寄贈

大 石田ライオンズクラブ(吾妻聡会長)が、4月20日に役場を訪れ、マスク3,000枚を町教育委員会に寄贈しました。これは、新型コロナウイルス感染拡大により、学校も臨時休業する中で、生徒や児童に病気に負けず元気にすごしてもらいたいとの思いで寄贈されたものです。

寄贈されたマスクは学校をとおして生徒や児童、教職員に配布されます。大変ありがとうございました。

子どもたちの交通安全を願って

ト ヨタライン株式会社(齋藤和博会長)さんが4月3日(金)に役場を訪れ、通学用黄色帽子70個を町教育委員会に寄贈しました。これは町内の子ども達に通学時によく目立つ黄色の帽子をかぶってもらい、子どもが関係する交通事故を防ごうと、運送業を営む齋藤さんが自社の交通事故防止の啓発も兼ねて毎年寄贈しているもので、今年で20回目の取り組みとなります。

寄贈された帽子は各小学校で4月7日(火)に行われた入学式にあわせて新1年生に配られました。毎年、大変ありがとうございました。



小中学校生へ手作りの布製マスクを いこいの会が寄贈

福 社ボランティアいこいの会が、町内の全小中学校生(約450人)に手作りの布製マスクを寄贈しました。マスクは、生地を4層に重ねて厚みを持たせているほか、立体的な縫製にする等工夫を凝らしたもので、一つ一つ丁寧に作られています。メンバーの高橋智子さんは「子どもたちに病気に負けないで元気に遊んで勉強してほしい」と話していました。大変ありがとうございました。



町民の健康を願って

大 石田町建設業協会(佐々木恵一会長)さんが4月20日に役場を訪れ、この日目録が手渡されました。これは、新型コロナウイルスの感染拡大が進む中で、町の業務に役立ててもらいたいと非接触型体温計を寄贈されたものです。

寄贈された体温計は各窓口や、町内の小中学校に設置され、来庁される町民の検温などに活用される予定です。大変ありがとうございました。



交通安全指導員による自転車教室

交 交通安全指導員による自転車教室が4月11日(土)に豊田地区で行われ、豊田地区と川前地区の小中学生13人と保護者が安全な自転車の乗り方を学びました。

町の交通安全指導員会では、雪が解けて小学生の自転車利用が増えるこの時期に各地区で教室を開催しています。教室では、はじめに二藤部慶太指導員(四日町)と遠藤好和指導員(仲通)が、自転車に乗る前に左右前後を確認することや、ヘルメットのあごひもの長さをしっかり調整することなどを説明。続いて、子どもたちは自分の自転車のサドルの高さなどを確認したあと、指導員や保護者が見守るなか左右確認をしっかり行って自転車にまたがり、正しい乗り方を確認していました。

町民にマスクを 大亀頭会が寄贈

大 亀頭会(佐々木正美会長)さんが4月20日に役場を訪れ、マスク7,000枚を町に寄贈しました。

これは、新型コロナウイルス感染拡大により、マスク不足が進む中で、町民の健康を願って1人に1枚のマスクを届けたいとの思いで寄贈されたものです。

寄贈されたマスクは今後各家庭に配布されます。大変ありがとうございました。

